

レジメン名	催吐リスク
胃がん S-1 + CDDP	高度

適応	切除不能な進行・再発の 胃がん 一次治療				
投与期間	5 週間を 1 コースとして、不応になるまで継続				
	薬品名	投与量	投与ルート	投与時間	備考
	S-1	※下記参照	内服		day1~21
	輸液1000mL/日 (※1) +フロセミド注 1A×1回		点滴+静注	点滴：1日 静注：夕	day7
①	アロキシ点滴静注バッグ (※2) +デカドロン注6.6mg 1~2V		点滴	30分	day8
②	シスプラチン (CDDP) + 生食 ⇒全量500mL	60mg/m <sup>2</sup>	点滴	2時間	day8
	輸液2000mL/日 +フロセミド注 1A×2回		点滴+静注	点滴：1日 静注：朝・夕	day8
	輸液1500mL/日 +フロセミド注 1A×2回		点滴+静注	点滴：1日 静注：朝・夕	day9
	輸液1000mL/日 +フロセミド注 1A×1回		点滴+静注	点滴：1日 静注：夕	day10

※1 輸液の種類は、生食、リナセートF、ソリタT3、等

※2 制吐剤はグラニセトロン3mgバッグへ代えても可

※ S-1投与量 体表面積 用量

1.25m <sup>2</sup> 未満	40mg/回 × 2回/日
1.25~1.5m <sup>2</sup>	50mg/回 × 2回/日
1.5m <sup>2</sup> 以上	60mg/回 × 2回/日

#### 投与スケジュール

薬品名	Day	1	2	...	7	8	9	10	...	21	22	...	27	28	29	...	34	35
シスプラチン						↓					2週間休薬							
S-1		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓								
輸液+フロセミド					↓	↓	↓	↓										

#### Day7

輸液 1500mL/日 + フロセミド注1A iv 1日1回(夕)

#### Day8

輸液 2000mL/日 + フロセミド注1A iv 1日2回 (朝・夕)

①アロキシ+デカドロン (30分)

② シスプラチン 2時間

#### Day9

輸液 1500mL/日 + フロセミド注1A iv 1日2回(朝・夕)

#### Day10

輸液 1000mL/日 + フロセミド注1A iv 1日1回(夕)

#### 減量規定及び中止基準

- ・Grade4の血液毒性等、腎機能不良患者には不可 (Ccr測定のこと)
- ・慎重投与患者はCDDP80% dose down、TS-1 1段階 dose down